

『横浜マラソン2023』事業計画



2023年1月24日
横浜マラソン組織委員会

名 称

横浜マラソン2023 (英文名 : YOKOHAMA MARATHON 2023)

開催趣旨

スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

開催日

2023年10月29日(日)

主 催

横浜マラソン組織委員会

横浜市、神奈川県、(公財)横浜市スポーツ協会、(一社)横浜市陸上競技協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟、(公財)神奈川県スポーツ協会、(一財)神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟、神奈川県スポーツ推進委員連合会、(一社)横浜青年会議所、(公財)よこはまユース、(社福)横浜市リハビリテーション事業団、(公社)横浜市身体障害者団体連合会、横浜商工会議所、(一社)横浜市商店街総連合会、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(一社)横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)横浜みなとみらい21、(株)横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送(株)、(株)アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、(株)テレビ神奈川、(一社)神奈川県バス協会、(一社)神奈川県タクシー協会、(一社)神奈川県トラック協会

主 管

(一社)横浜市陸上競技協会

協 賛

【2022実績】

オフィシャルパートナー

E N E O S 株式会社、株式会社ローソン、株式会社アマダ、日産自動車株式会社、株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、日清オイリオグループ株式会社、第一生命保険株式会社、レイズネクスト株式会社、カシオ計算機株式会社、東急グループ、アクエリアス、株式会社 J E P L A N、NTT東日本、リストグループ、株式会社ダスキン、株式会社フォトクリエイト、新港ふ頭客船ターミナル株式会社、三菱地所グループ

横浜サポーター

株式会社横浜銀行、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社両備システムズ、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、N P O 法人おれんじハウス、横浜ベイクォーター、株式会社キタムラ、資生堂グローバルイノベーションセンター (S / P A R K)、フクダ電子株式会社、株式会社城山、プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ、株式会社日新

<ジュニアサポーター>

よこはまコスモワールド

運営協力
協力
【2022実績】

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

首都高速道路株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、
パシフィック横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社、
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、クィーンズスクエア横浜、（一社）横浜みなとみらい21、ハクビ京
都きもの学院、（一社）横浜南部市場管理協会、国立研究開発法人海洋研究開発機構、日本体育
大学、横浜市交通局、横浜市消防局、横浜市水道局、（公財）横浜市緑の協会、
ヨコハマSDGsデザインセンター

後援
【2022実績】
運営管理

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会

横浜マラソン組織委員会事務局

競技規則
種目

本大会の大会規程および日本陸上競技連盟競技規則を準用する

- フルマラソン（42.195km） ■ペアリレー【新規】【第1走者(20.4km)、第2走者（21.8km）】
- みなとみらい7kmラン（約7km） ■車いすチャレンジ（約2.7km）
- ファンラン（ファミリー）【新規】（約2.7km） ■ファンラン（中学生）【新規】（約2.7km）

コース
（調整中）
参加資格

フルマラソン

ペアリレー



- 横浜ランドマークタワー前～みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場 ～パシフィック横浜～
横浜赤レンガ倉庫～横浜税関～山下公園～三溪園・本牧市民公園～根岸駅前
～横浜南部市場前(折り返し)～首都高速湾岸線(杉田～本牧ふ頭)～山下公園～大さん橋～
横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィック横浜臨港パーク

※ペアリレー中継地点：磯子スポーツセンター前（聖天川西側交差点）

- 2005年（平成17年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソン（ペアリレーは2人1組）を6時間以内に完走できる方

みなとみらい7Kmラン

- 横浜ランドマークタワー前～みなとみらい大橋～横浜市中央卸売市場本場 ～パシフィック横浜～
横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィック横浜臨港パーク
- 2008年（平成20年）4月1日以前生まれの方で、約7kmのコースを60分以内に完走できる方

車いすチャレンジ（車いす・付添伴走（介助）可）

- パシフィック横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィック横浜臨港パーク
- 2017年（平成29年）4月1日以前生まれの方で、約2.7kmを車いすで60分以内に完走できる方
（車いすの仕様に制限はありません。）

ファンラン（ファミリー）



- パシフィック横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィック横浜臨港パーク
- 小学生とその保護者（18歳以上）のペアで、約2.7kmを45分以内に完走できる方

ファンラン（中学生）



- パシフィック横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィック横浜臨港パーク
- 中学生の方で、約2.7kmを45分以内に完走できる方

募集人数
及び参加料金

募集人数及び参加料金等

2023大会では、フルマラソンのコースを活用した「ペアリレー」を新設し、フルマラソンでは長く、7kmでは短いというランナー向けに選択肢を広げ、協力をして完走する喜びが感じられるハーフマラソンレベルの距離の枠を設けます。また、子どもから大人まで楽しめる大会を目指して、小学生と保護者を対象とした「ファンラン【ファミリー】と中学生を対象としたファンラン【中学生】」を新設します。

種目	2023大会 フルマラソン24,500人		2022大会 フルマラソン23,000人	
	募集人数	参加料金	募集人数	参加料金
●フルマラソン				
女性ランナー枠 ※1	6,000人	20,000円	6,000人	20,000円
地元優先枠 ※1	横浜市民枠	2,000人	2,000人	20,000円
	神奈川県民枠	1,000人	1,000人	20,000円
一般枠 ※2	14,100人	20,000円	12,600人	20,000円
チャレンジ枠 ※3	500人	20,000円	500人	20,000円
チャリティ枠 ※4	400人	55,000円 (参加料金含む)	400人	55,000円 (参加料金含む)
ふるさと納税枠 ※5	500人	120,000円 (参加料金含む)	500人	120,000円 (参加料金含む)
フルマラソン小計 ※6	24,500人		23,000人	
●ペアリレー 【新規】	150組 300人	32,000円		
●みなとみらい7kmラン (約7km) ※7	3,000人	5,000円	2,000人	5,000円
●車いすチャレンジ (約2.7km)	100人	4,500円	100人	4,500円
●ファンラン【ファミリー】 (約2.7km) 【新規】	50組 100人	6,000円		
●ファンラン【中学生】 (約2.7km) 【新規】	100人	4,500円		
合 計 ※8	28,100人		28,100人	

- ※1 「女性ランナー優先枠」・「地元優先枠」の落選者は、自動的に一般枠の抽選に移行します。
- ※2 新型コロナウイルス感染症の規制緩和傾向も見受けられるため、一般枠の募集人数を2022大会より1,500人枠を増やしました。
- ※3 横浜マラソンへの参加機会を提供することで、ランニング等のスポーツを習慣化してもらうことを目的とした枠です。
- ※4 チャリティ寄付先として8団体程度を寄付先に設ける予定です。
- ※5 横浜市のふるさと納税となるため、横浜市内に在住の方が対象となります。
- ※6 フルマラソンの募集人数に満たない場合は、主催者判断により中止とする場合があります。
- ※7 新型コロナウイルス感染症の規制緩和傾向も見受けられるため、「みなとみらい7kmラン」の募集人数を1,000人増やします。
- ※8 2022大会の合計には、オンラインマラソン3,000人が含まれています。

公募エントリー

2023年4月3日(月)～5月2日(火) [予定] ※インターネット申込

スケジュール

主なスケジュール		
2023年 1月	下旬	組織委員会開催
		①横浜マラソン2022事業報告・収支決算
		②横浜マラソン2023事業計画・収支予算
3月	下旬	募集要項公表
		ボランティアリーダー募集開始
4月	上旬	○女性枠・地元枠・一般枠・チャリティ枠・ふるさと納税枠・ペアリレー・7km・車いすチャレンジ・ファンラン、エントリー開始
		一般ボランティア募集開始
5月	上旬	○女性枠・地元枠・一般枠・ペアリレー・7km・車いすチャレンジ・ファンラン、エントリー締切 プレイベント
	下旬	○女性枠・地元枠エントリー当落通知入金開始
6月	上旬	○女性枠・地元枠エントリー入金締切
	中旬	○一般枠・ペアリレー・7km・車いすチャレンジ・ファンラン、エントリー当落通知・入金開始
	下旬	○一般枠・ペアリレー・7km・車いすチャレンジ・ファンラン、エントリー入金締切
7月	中旬	チャレンジ枠エントリー締切
9月	下旬	大会プログラムや参加賞、ナンバーカード等の送付
10月	上旬	参加者案内の配信開始
	中旬	ボランティアリーダー研修会開催、ボランティアウエア等の送付
		横浜マラソン2023オンラインEXPO開催（約2週間）
		オンラインにてランナー受付
29日	開催日	
11月	12日	関連イベント

感染症対策

大会に関わるすべての方が安全、安心に参加できるよう、引き続き、感染症拡大状況には留意します。国・神奈川県・横浜市の感染拡大や感染症専門家の意見を踏まえた上で、状況に応じた対策を取り、大会運営を行います。

感染拡大の状況により、実施する対策例

- ① 手荷物預り・更衣会場を複数箇所とし、ソーシャルディスタンスを確保します。
- ② スタート待機場所を広く確保します。また、ブロックスタートおよびネットタイム計測を導入します。
- ③ 健康チェックWEBアプリ等のデジタル技術を活用します。

【手荷物預り・更衣会場及びスタート待機列図】 ※2022実績



スタート時刻等

スタート時刻、関門閉鎖時刻、ランナー受付、体調チェック

種 目	スタート時刻	制限時間
フルマラソン（ペアリレー）	8時30分	6時間30分
みなとみらい7kmラン	8時30分	70分
ファンラン（中学生）	9時40分	45分
ファンラン（ファミリー）	9時41分	45分
車いすチャレンジ	9時45分	60分

コース上に関門地点を設置し、関門時刻に関門を通過していない選手は失格とします。

関門閉鎖時刻
【2022実績】

	場所	関門距離 (km)	関門時刻		場所	関門距離 (km)	関門時刻
スタート関門	スタートライン	0	9:10	第8関門	聖天川西側交差点付近	20.6	11:47
第1関門	展示ホール北交差点	3.5	9:31	第9関門	首都高56.1KP	27.3	12:44
第2関門	マリンタワー前交差点	6.2	9:52	第10関門	首都高51.5KP	31.9	13:24
第3関門	本牧A突堤入口交差点北側	7.9	10:05	第11関門	港湾道路入口	36.5	14:06
第4関門	本牧陸橋南側	10.4	10:24	第12関門	横浜人形の家前	39	14:30
第5関門	プールセンター入口交差点付近	14.4	10:56	第13関門	赤レンガ倉庫前	40.4	14:43
第6関門	新中原橋付近	17	11:17	フィニッシュ関門	フィニッシュゲート	42.195	15:00
第7関門	南部市場前折返し	19.6	11:38				

* みなとみらい7kmランの関門は、第1関門及びフィニッシュ関門の設置となります。

ランナー受付

日 程

2023年10月19日（木）～22日（日）（オンラインEXPO開催の最初の4日間【予定】）

方 法

- ①オンラインEXPOに参加し、受付登録を行います。（事前受付）
- ②ナンバーカードや参加賞等については、10月上旬より発送を開始します。

体調チェック

方 法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、「健康チェックWEBアプリ」を活用した体調チェックを実施します。

オンラインマラソン
企画

オンラインマラソン

日 程

リアル大会に向けての準備や日ごろの運動習慣に活用していただくために通年で参加できるように企画として実施します。

方 法

- ①専用スマホアプリ「横浜マラソンRun」をインストールします。
- ②期間内に42.195km走ります。
- ③走った距離をアプリ内で申請します。

特 徴

- ①GPS機能搭載。「横浜マラソンRun」アプリのみでご参加可能です。
- ②ウェアラブル端末連携機能 ※開催時期については、調整中

PR・ゲスト

PR・ゲスト、コース上企画、関連イベント、併催イベント

2023大会は、2022大会に引き続き、インターネットTVによる生中継を予定しています。インターネット環境があれば、全国各地でも視聴可能となることで、広く大会のPRを図ります。「大会応援ゲスト」についても、中継の企画と連動させながら、ランナーのみならずインターネットTVの視聴者も含めた、大会の盛り上げを行います。

【2022実績】

大会応援ゲスト

谷原章介 : 俳優
田中理恵 : 元体操選手 オリンピアン

ゲストランナー

市橋有里 : 元マラソン選手・オリンピック
福島和可菜 : タレント
中村優 : タレント

スペシャルゲスト

鈴木健吾 (富士通) : 男子マラソン日本記録保持者
一山麻緒 (資生堂) : 女子マラソン東京2020大会8位入賞

コース上企画

ラッキー給食・給水パフォーマンス

ランナーの楽しみである「ラッキー給食」及び「給水パフォーマンス」は、横浜マラソンの特色です。感染症の感染拡大状況により、実施方法を検討します。

ラッキー給食

楽しみながらゴールを目指していただくため、「食べられたらラッキー♪」というコンセプトの横浜マラソン名物『ラッキー給食』



給水パフォーマンス

各給水所で実施してきた「ランナーを元気づける」をコンセプトにした応援パフォーマンス。



関連イベント

プレイベント

「横浜マラソン2023」の開催機運を盛り上げるため、プレイベントを実施します。



「GOGO!新緑 親子ラン」

※内容及び会場は調整中



「マラソン完走サポートレッスン」

併催イベント等

10月
中旬

横浜マラソン ONLINE EXPO 2023

オンラインで2週間程度の開催を予定します。オンラインでの開催は、今まで参加が難しかった全国のランナーとのコミュニケーションが可能となります。誰もが楽しめる映像配信を中心とした企画や様々なブースを展開し、大会の機運を盛り上げ、横浜・神奈川の魅力を発信します。



10月
下旬

横浜マラソンフェスタ2023

メイン会場を中心に「横浜マラソンフェスタ」を開催します。走り終えたランナーや応援に来た方の皆様をおもてなしします。



10月

ウェルカムサービス2023

「横浜マラソンをもっと盛り上げたい!」という市内の事業者様と連携してお得なサービスを提供する企画です。ランナーだけでなく、応援する皆さまも使えるお得なサービスを実施します。「横浜マラソンフェスタ2023」とともに、まちの賑わいづくりや回遊性の向上を図ります。



連携企画

チャレンジ枠対象事業

多くの市民等にランニングを習慣にいただき、一層の健康増進と体力の向上を推進するとともに、大会に向けた機運醸成を図るため、横浜マラソンの出走権（参加料金/有料）を付与する「チャレンジ枠対象事業」を実施します。

【対象事業】

■各区事業（主催、共催又は後援）

区民マラソン大会やランニング教室の修了者、その他これらに準ずる事業（オンライン含む）及び対象者

■各スポーツセンター事業

ランニング教室の修了者、その他これに準ずる事業の対象者

■横浜マラソン組織委員会事務局が主催または認めた事業

マラソン大会の上位入賞者・完走者、ランニング教室の修了者、その他これらに準ずる事業及び対象者

SDGs未来都市「横浜」として



「横浜マラソン2023」は、持続可能な社会づくりへ貢献していきます。

2023年は、電気自動車の活用や環境に配慮した制作物など引き続き、SDGsへの取り組みを強化していきます。2023大会も「豊かな自然のもとで、すべての人が健康に暮らし、協力し合える世界」の実現を目指します。

1 横浜マラソンでは、
循環の輪を生み出します



昨年実施した服のリサイクルシステムは、さらに拡大した取り組みとして実施します。また、服以外にも循環できるアイテムに着目し、循環の輪を生み出していきます。

2 横浜マラソンでは、
リサイクル・アップサイクルに挑戦します



大会時にやむを得ず排出されてしまうごみを資源としたリサイクル、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせて、アップサイクルに挑戦します。新規で作成する物は、できる限り循環できるものにしていきます。

3 横浜マラソンでは、
多様な参加機会をつくり出します



女性にやさしい大会、車いすでも参加しやすい大会、親子や友人と一緒に参加できる大会、ボランティア参加しても楽しい大会など多様な参加機会を創出していきます。

横浜市SDGs認証制度

Y-SDGs
- standard -



（横浜市SDGs認証制度 / 私たち）は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



大会コース

【参考】フルマラソン (42.195 km) 【2022大会コース】



「横浜マラソン2022」と同様のコースを考えています。引き続き、待機列を確保し、安全・安心なスタートを行うため、スタート地点を横浜ランドマークタワー前とします。
※コースの一部変更を行う場合があります。

大会コース

みなとみらい7kmラン



車いすチャレンジ・ファンラン (ファミリー・中学生) (約2.7km)



【2022実績】

オフィシャルパートナー

プラチナパートナー（1社）



ゴールドパートナー（3社）



シルバーパートナー（10社）



ブロンズパートナー（5社）



横浜サポーター

株式会社横浜銀行、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通Japan株式会社、株式会社両備システムズ、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、NPO法人おれんじハウス、横浜ベイクォーター、株式会社キタムラ、資生堂グローバルイノベーションセンター（S/PARK）、フクダ電子株式会社、株式会社城山、プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ、株式会社日新

<ジュニアサポーター>
よこはまコスモワールド

横浜を走る、世界が変わる。



2023年10月29日(日) **START**

「横浜マラソン2023」収支予算

(2023年1月1日～2023年12月31日)

収 入 903,783,473円

支 出 903,783,473円

差 額 0円

【収入】

【単位：円】

	費 目	2023大会	2022大会	増 減	備 考
1	参加料金及び協賛金	766,107,000	754,111,200	11,995,800	
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	横浜市： 100,000,000円 神奈川県： 30,000,000円
3	その他	500,000	500,000	0	
	小計	896,607,000	884,611,200	11,995,800	
	前大会繰越金	7,176,473	16,700,579	▲9,524,106	
	合計	903,783,473	901,311,779	2,471,694	

※2023大会の自治体負担金については横浜市及び神奈川県の予算成立を前提として計上しています。

【支出】

【単位：円】

	費 目	2023大会	2022大会	増 減	備 考
1	広報・イベント費	110,000,000	109,385,500	614,500	ランナー募集関連等
2	安全対策費	355,000,000	350,996,000	4,004,000	大会警備等
3	大会運営費	352,607,000	343,851,700	8,755,300	会場使用料等
4	システム関係費	35,500,000	35,490,000	10,000	エントリーに係る費用等
5	事務局経費	36,500,000	37,888,000	▲1,388,000	事務局運営費、法人税等
6	予備費	7,000,000	7,000,000	0	
	小計	896,607,000	884,611,200	11,995,800	
	次大会繰越金	7,176,473	16,700,579	▲9,524,106	
	合計	903,783,473	901,311,779	2,471,694	